

パネルディスカッション

テーマ：地域理学療法学の展開と連携における主眼点

講師：谷口聡、阿部也絵子、秋葉明、長島進一、小林真人、猪瀬茜、藤井なほ美、
八巻絢子、岡崎喜紀

講演概要

埼玉県三郷市では、平成 27 年度より「地域の医療・介護資源の把握」や「地域課題の抽出と対応策の検討」、「切れ目のない在宅医療と在宅介護提供体制の構築推進」、「関わる職種の情報共有や相談支援」、「地域住民への普及啓発」等を主な目的に、「在宅医療・介護連携推進協議会」を（以下協議会）発足した。目的に即し 8 つの事業項目を展開し、協議会と北部・南部検討部会の下部組織を編成して活動を行ってきた。

平成 29 年度には埼玉県立大学と共同研究として多職種連携研修会を開催した。これは多職種連携に関する専門職の意識改革、連携上の課題解決への基盤づくりを目的に行われた。その結果、多職種連携の必要性の理解や職種ごとの相互理解、気軽に連絡を取れる関係の構築が促進されるなどの効果が示された。協議会では各検討部会での事例検討や研修会を通して、①入退院に関わる情報提供の統一や連携ツールの導入、②退院調整ルールの策定や社会資源情報の可視化及び情報共有、③相談支援の場としてケアカフェの実施等の取り組みの結果が得られた。一方、地域の課題と連携上の課題を同時に検討することには困難さがあり、市全体が関わる連携上の課題が中心となっていた。これを受けて協議会では、当初の事業項目を総括し、平成 30 年度より目的別部会を設置するなど体制を再編成して活動を行い、現在に至っている。

今回のパネルディスカッションでは、協議会に参加している各専門職から医師、看護師、薬剤師、介護支援専門員、ヘルパー、地域包括支援センター、行政の皆様のパネリストとしてご登壇をいただき、それぞれの立場から協議会での活動に対する振り返りや理学療法士に期待することなどについてご意見をいただく予定である。今回の議論が地域理学療法の展開と連携において、今後の取り組みの一助として共有できれば幸いである。

ご略歴

谷口 聡：医師 たにぐちファミリークリニック 院長
阿部 也絵子：看護師 三愛会ロイヤル訪問看護ステーション 所長
秋葉 明：主任介護支援専門員 ケアサポートみさと
長島 進一：主任介護支援専門員 三郷市地域包括支援センターみずぬま 所長
小林 真人：管理薬剤師 みさき薬局 科長
猪瀬 茜：介護福祉士 ファミリーケアみさと 所長
藤井 なほ美：看護師 三郷市医師会立訪問看護ステーション 所長
三郷市在宅医療・介護連携サポートセンター
八巻 絢子：保健師 三郷市役所 長寿いきがい課地域包括係 主査
岡崎 喜紀：理学療法士 三愛会総合病院 リハビリテーション科技士長